

# きたびろ 学び塾〜With.

## 事業実施報告書【講座名：地域施工支援事業の推進】(官民一体の未来創造学部)

- 日 時：令和元年10月31日(木) 13:30～15:00
- 場 所：北広島町戸谷(豊平地域)
- 参加人数：23名
- 内 容：水路補修「農業用水路など、継ぎとから漏れる水を止める」  
講師 株式会社 ナカタニ

### 内容

#### 必要なもの

モルタル(セメント、砂)、タガネ、ハンマー、軍手 あれば動力噴霧器

#### 事前準備

水路周辺の草刈り等を行い、目地の状態がわかるようにしておく。

#### 目地の下処理

モルタルが接着しやすくするため、悪くなった目地をタガネとハンマー等で除去する。なお、しっかりしている部分の目地は残しておいてもよい。その後、目地部分に泥やほこりが残らないように洗い流す。防除などで使用する動力噴霧器の先端を付け替えて利用すれば、水源から100mくらい離れている場所でも洗い流すことができる。



#### モルタル充填

隙間にモルタルがしっかり入るように押し付けながら塗り込む。側面部分は垂れやすいので硬めのモルタル、底面部分にはやわらかいモルタルを入れる。軍手を利用すれば、圧を確認しながら入れることができる。継ぎとからはみ出して多めにモルタルを塗っているものをよく見るが、はみ出した部分にゴミ等が引っかかり、はみ出した部分から剥がれたりするため、多く塗りすぎない。



#### 養生

セメントが流れてしまうので、2～3日は水を流さないようにする。可能であれば1週間くらい流さないほうが良い。

### モルタルについて

モルタルは、セメント：砂＝1：3の割合で配合し、硬さを見ながら水を加えていく。

今回使用したセメントは、(株)トクヤマエムテックのセメント系無収縮グラウト材「グラウトミックス」。

無収縮のものは通常のセメントよりも金額は高いが、硬化時に収縮せず、隙間ができづらく、付着性が高い。

### 動力噴霧器の有効活用について

防除などで使用する動力噴霧器は、先端を付け替えることで、管水路の泥等の除去もできるので、防除以外でも有効活用ができる。



### 参加者の声

- ・自分の思いと随分差があり、参加して大いに勉強になった
- ・帰ってすぐにやっていく
- ・自分勝手に理解、実施していたところが多かった
- ・メチの詰め方、材料の使い方が参考になった
- ・セメントの配合が参考になった
- ・新しい資材があることに気づいた
- ・細かく説明があり参考になった
- ・知識として勉強になった。実践に結びつくと思います。
- ・米作りに直接関係がある内容だと思う

### 写真

